

NEWS RELEASE

登別温泉街のグリーンスローモビリティにバスロケーションシステムを提供

～ デジタル田園都市国家構想の一環、デジタルサイネージで位置情報のほか複合コンテンツ配信 ～

エコモット株式会社(本社：北海道札幌市、代表取締役：入澤 拓也、以下「エコモット」)は、日本データサービス株式会社(本社：北海道札幌市、代表取締役：石原 知樹、以下「NDS」)と連携して、国内屈指の温泉観光地を抱える北海道登別市が3月27日から運行開始する、温泉街を周遊するグリーンスローモビリティに対し、バスロケーションシステムの提供を開始いたします。

準天頂衛星システム(QZSS)「みちびき」による測位情報を活用して高精度での位置情報を把握し、旅館・ホテルや観光スポットに計14台設置する観光PR用デジタルサイネージにリアルタイム配信いたします。観光客の利便性向上を図りながら、同市が推進するDX/GX事業を後押しいたします。



■背景

地方の個性を活かしながらデジタルの力で社会課題の解決と魅力の向上を図る「デジタル田園都市国家構想」の実現に向け、登別市はNDSと連携して「登別温泉 DX/グリーントランスフォーメーション構想」事業を立ち上げ、2022年3月に内閣府から推進交付金の採択を受けています。

事業の核となるグリーンスローモビリティの導入については、その前年から実証運行されていましたが、活用効果を評価する中で、利用者の利便性向上や観光地としての更なる魅力発信等が企図され、バスロケーションシステムとデジタルサイネージの導入が検討されました。

これを受け、エコモットはNDSとの協議を経て、QZSS対応の測位システム「SVL-200」と、ディスプレイ1台に複数の映

像コンテンツを同時配信・表示できる「Gフェイス(GFS-200)」の提供を決め、このたび登別市より正式に採用されるに至りました。

準天頂衛星「みちびき」による国産の測位システムに対応したSVL-200や、バスの位置情報と観光コンテンツを同時配信できるGフェイスの導入により、エコモットとしても国策のデジタル化事業に貢献できるものと考えております。

■ SVL-200について

- ・LTE モジュールを搭載した車載用測位システム。GPS+QZSS による位置情報が定期的にクラウド側に記録される。
- ・測位精度は誤差 1～2 メートル。GPS と準天頂衛星システム(QZSS)両方の位置情報を捕捉しているため高精度。
- ・電源はシガーソケットにより供給。両面テープでダッシュボード上に取り付けるだけの簡単設置。
- ・セキュリティの高い閉域網通信である KDDI CRG 回線を利用。

<システム概要>



■ Gフェイスについて

- ・ディスプレイと接続し、オンライン上の複数の映像データやメディアコンテンツを複合的に表示・配信できる通信デバイス。
- ・クラウド上に保存された動画・静止画や YouTube 等のほか、IoT デバイスで収集するセンサーデータ表示にも対応。
- ・各コンテンツは任意のサイズ・レイアウトで表示可能。1 つの映像に別の映像を重ね合わせて表示することもできる。
- ・対応ファイル形式は PDF、動画(mp4)、静止画(PNG、GIF、JPG)。任意の Web サイト(HTML)も対応。

<システム概要>



■ エコモット株式会社について

エコモットは 2007 年の創業以来 IoT 専門のソリューションベンダーとして、センサー・自社開発通信デバイスの提供を行うとともに、多様な顧客ニーズに応じたカスタマイズ、現場での設置ノウハウを提供し、あらゆる「モノ・コト」からセンシングを可能にするソリューションを提供しています。2017 年 6 月に札幌証券取引所アンビシャス市場、2018 年 6 月に東京証券取引所マザーズへ上場。2019 年 1 月に KDDI 株式会社と資本業務提携いたしました。

所在地 : 〒060-0031 北海道札幌市中央区北1条東1丁目2番5号 カレスサップロビル 7階
代表 : 代表取締役 入澤 拓也
設立 : 2007年2月
資本金 : 6億1,532万円 (2022年8月末現在)
事業内容 : IoTソリューションの企画、およびこれに付随する端末製造
通信インフラ、アプリケーション開発、並びにクラウドサービスの
運用・保守に関する業務のワンストップでの提供
URL : <https://www.ecomott.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

エコモット株式会社 コンストラクションソリューション企画部 吉村・大塚

TEL : 011-558-6600 MAIL : cst-press@gembaroid.jp